下関地域で口蹄疫発生に対する
対策研修会が開催されました

下関農林事務所畜産部
平成22年6月2日

口蹄疫は牛や豚などの偶蹄類動物に感染する家畜伝染病で、
平成22年 4月20日に宮崎県において口蹄疫の疑似患畜が発見されて以降、未だ発生が続いています。

そこで、本病の侵入防止と防疫対策のため、5月31日ＪＡ下関豊田支所において下関管内の畜産農家を参集し、48名の出席のもと口蹄疫対策研修会が開催されました。

西部家保より口蹄疫のビデオを放映後、発生状況及び防疫対策について講演を行い、消毒の励行及び異常家畜の早期通報等を徹底し、講演後は活発な意見交換がされました。

今後も防疫対策を強化すると伴に、関係者と連携し本病の侵入防止に万全を尽くしていきます。

家保所長挨拶